

広報しそう作成業務に係る公募型プロポーザル実施要領

1 趣旨

本実施要領は、宍粟市総務部広報情報課において、広報しそう作成業務（以下「本業務」という。）の受託候補者を公募型プロポーザル「以下「プロポーザル」という。」方式により選定する手続きについて、必要な事項を定めるものである。

2 業務内容に関する事項

(1) 事業の目的

本業務は、市政に関する情報を市民に対し正確かつ効果的に提供するため、広報紙を毎月発刊するものである。

市が作成する原稿案及びラフデザインを基礎とし、委託業者が記事のテキストや画像の調整、装飾やイラストの挿入等のデザイン制作を実施し、印刷可能な完成版に仕上げ、印刷製本を行う。

(2) 件名

広報しそう作成業務

(3) 業務内容

別紙「広報しそう作成業務仕様書」（以下「仕様書」という。）を参照のこと。

(4) 契約上限額（見積上限額）

1 ページあたりの単価： 31,881 円（税抜）【35,069 円（税込）】

※本業務の契約締結にかかる上限額は3年総額で、30,300,000 円（税込）

【年度別内訳】 令和8年度上限額 10,100,000 円

令和9年度上限額 10,100,000 円

令和10年度上限額 10,100,000 円

※1年度あたりの算定方法：31,881 円/ページ×24 ページ×12 か月×消費税

※本業務の契約締結にかかる上限額であり、予定価格についてはこの範囲内で別途算定する。

(5) 契約期間

契約締結日の翌日から令和11年3月15日まで

(6) 履行場所

宍粟市内において本市が指定する場所（別途、仕様書による）

(7) その他

本業務に係る詳細事項については、別途仕様書に定めるものとする。

3 契約に関する事項

(1) 契約の方法

複数年度契約

宍粟市契約規則の規定に基づき、契約を締結する。契約内容は発注者と協議のうえ、仕様書及び広報紙デザイン提案書に基づき決定する。

なお、契約の締結に際し、万一、提出書類の記載内容に虚偽の内容があった場合や、各種法令違反等により社会通念上契約の相手方として不適当であると認められる場合は、契約締結をしないことがあるほか、宍粟市指名停止基準に基づく停止措置を講じることがある。また、発注者が被った損害について、賠償請求を行うことがある。

(2) 委託料の支払

受注者からの請求に基づき、部分払いをすることができる。支払いについては、各月号の履行確認後、出来高に応じて支払う。

(3) 契約条項

別紙「業務委託契約書」参照

(4) その他

契約締結後、当該契約の履行期間中に受託事業者が「宍粟市契約事務等からの暴力団等の排除に関する要綱」に基づく入札等除外措置を受けたときは、契約を解除することがある。

4 参加資格等

次に掲げる要件をすべて満たすこと。

- ア 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しないこと。
- イ 公募開始日から契約締結の日までの期間において、宍粟市指名停止基準に基づく停止措置を受けていないこと。また、国及び都道府県の指名停止基準に基づく指名停止についても受けていないこと。
- ウ 破産法（平成16年法律第75号）の規定により破産の申立てがなされていないこと。
- エ 所得税、法人税、消費税及び宍粟市に納入義務があるもの等について滞納していないこと。
- オ 宍粟市暴力団排除推進条例第2条第1項第3号、第4号に該当しない者であること。
- カ 会社更生法（平成14年法律第154号）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく更生手続き又は再生手続きを行っている者でないこと。
- キ 令和7・8・9年度宍粟市入札参加資格者名簿に登載されている者で、物品（一般）・役務の印刷業「事務用印刷」及び「製本」の両方に登録している者。ただし、参加申請書提出期限までに登録完了した者も可とする。

5 スケジュール

事項	予定日	備考
公募開始（市HP掲載）	令和7年12月17日（水）	
広報紙デザイン提案用素材の公開 （市HP掲載）	令和7年12月22日（月）	
質問受付期限	令和7年12月26日（金） 正午必着	
質問に対する回答	令和8年1月8日（木） 午後1時以降	
参加申請書提出期限	令和8年1月15日（木） 午後5時必着	
参加資格審査結果通知	令和8年1月16日（金）	
企画提案書類の提出期限	令和8年1月30日（金） 午後5時必着	
1次審査（書類審査）	令和8年2月4日（水）	
2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング等による最終審査）	令和8年2月10日（火）	
結果通知	令和8年2月16日（月）	
契約の締結	令和8年3月10日（火）	

6 参加申込に関する事項

（1）受付期間

令和7年12月17日（水）から令和8年1月15日（木）午後5時まで

（2）提出方法

下記11の提出先まで電子メールで提出すること。送付後は必ず電話確認を行うこと。電話確認を行わなかった場合は、申し込みを受け付けないことがある。

（3）提出書類

公募型プロポーザル参加申請書（様式2）

（4）参加資格決定通知

すべての参加申請者に対し、令和8年1月16日（金）までに、様式2に記載された担当者メールアドレスあてに通知する。

7 質問の受付・回答

(1) 受付期間

公募開始日から令和7年12月26日（金）正午まで（必着）

(2) 提出方法

「質問書」（様式1）に記載し、下記11の提出先まで電子メールで提出すること。送付後は必ず電話確認を行うこと。電話確認を行わなかった場合は、質問に回答できないことがある。

※電話や来訪による口頭での質問は受け付けない。

(3) 回答

受け付けた質問事項に対する回答は、令和8年1月8日（木）午後1時以降、当市公式サイトに掲載する。個別には回答しない。

また、質問した業者名は公表しない。質問受付締切り後は、仕様書の内容その他審査に影響を与える質問には一切回答しない。

8 企画提案書類の提出

(1) 受付期間

令和8年1月19日（月）から令和8年1月30日（金）午後5時まで

(2) 提出方法

郵送のみ。

配達までの送達過程の記録が確認できる簡易書留等によること。提出先は下記11参照。

(3) 提出書類

ア 公募型プロポーザル資料送付書（様式3）

イ 業務体制表（様式4）

ウ 同種・同類業務実績調書（様式5）

※ 地方公共団体が発注したことが確認できる、定期刊行物として発行している広報紙と契約書の写しを添付すること（契約書は契約業務名と契約期間、契約相手方の名称及び押印がある箇所のみで構わない）。

エ 業務工程表（様式6）

※ 令和8年4月15日及び5月15日に発行する広報しそ発行スケジュールの想定を記載すること。

オ 業務委託見積書（様式7）

※ 1ページあたりの単価を税抜きで記載すること。

カ 広報紙デザイン提案書

※ 指定する素材を使用した10ページの紙面デザインとすること。

(4) 提出部数

正本：1部（記名したもの）

副本：9部

※ 副本には、記名せず、事業者名や事業者を特定できる箇所（事業者名・所在地・代表者名・ロゴマーク等）にはマスキングの処理を行うこと。なお、「当法人」「当団体」のような記載は差し支えないが、具体的な名称の記載は避けること。提出資料中、提出者を特定できる箇所には発注者において黒塗りをする場合がある。

(5) 広報紙デザイン提案書について

ア 広報紙デザイン提案書はA4版とすること。

- イ 指定する素材を使用した 10 ページの紙面デザインとすること。
- ウ 提案内容が理解しやすいよう簡潔かつわかりやすい表現で記述すること。
- エ 広報紙デザイン提案書は、別紙「広報しそ作成業務仕様書」の内容を踏まえ、提案書に記述すること。

(6) その他の注意事項

- ア 提出書類について、この書面及び別添の様式に示された条件に適合しない場合は、無効とすることがある。
- イ 広報紙デザイン提案書の提出は 1 者につき 1 案とする。
- ウ 広報紙デザイン提案書の提出後に本市の判断で補足資料の提出を求めることがある。

9 選定に関する事項

企画提案の審査については、以下の評価項目についての意見を聴取のうえ、発注者において候補者を決定する。審査は非公開とし、審査内容についての質問や異議は一切受け付けない。

(1) 1 次審査（書類選考）

- ア 事務局で定めた審査項目及び評価基準に基づき項目ごとに数値化して採点し、合計点数により評価する。
- イ プロポーザル参加申請書を提出した者が 5 者を超えた場合は、業務体制や過去の同種・類似業務実績調書等の内容について事務局で評価し、5 者を選定する。選定された 5 者は、2 次審査に参加することができる。
- ウ 書類選考を行った結果、同得点の者が 5 者以上になった場合は、その全員をヒアリング審査に参加できることとする。
- エ プロポーザル参加申請書を提出した者が 5 者を超えない場合は、1 次審査を省略し、応募者全員が 2 次審査に参加することができることとする。その場合、2 次審査において、全項目の審査を行うこととする。
- オ 選考結果は、すべての参加申請者に対して通知する。
- カ 選考結果に関する問合せには、一切応じないものとする。

(2) 2 次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

プレゼンテーション及びヒアリングについては、提案内容に関する確認や補足説明を受けることを主な目的として実施する。

- ア 開催日・場所（予定）
 - 日時：令和 8 年 2 月 10 日（火）
 - 場所：宍粟市役所内
 - ※時間・場所の詳細は追って連絡する。
- イ 出席者
 - 統括責任者及び各担当者で、「業務体制表（様式 4）」に記載された者 3 名までとする。
 - ただし、病気、交通機関の事故等でやむを得ない理由で記載された者が出席できない場合はこの限りではないため、その旨を理由と共に文書（任意様式、A 4 版）にて提出すること。
- ウ 説明資料等
 - 説明はパワーポイント等により行うことができる。プレゼンテーションは、事前に提出した広報紙デザイン提案書等により説明を行うこと。（10 分以内）
 - 実施にあたり、各自のパソコン等の機器を使用することも可とする。なお、プロジェクター、スクリーンなどプレゼンテーションに必要な機器は各自用意するものとする。
 - プレゼンテーション終了後、審査委員より質疑を行い、回答は、説明を行った者が行

うものとする。質疑応答を含め 20 分間程度以内とする。

エ 評価者

本業務における受託候補者の特定は、本業務プロポーザル選定委員会が審査を行う。

オ 企画提案の評価

広報紙デザイン提案書及びプレゼンテーションの内容について、事務局で定めた審査項目及び評価基準に基づき項目ごとに数値化して採点し、合計点数により選定する。合計点数の最高得点を得た者を業務受託候補者とする。

カ プロポーザル審査における最低基準点を満点の 60%とし、評価が基準点を満たす場合のみ、当該応募者を業務受託候補者とする。なお、評価点が基準点に満たない場合は失格とし、プロポーザル参加者が 1 者のみの場合も同様とする。

キ 2 次審査において、審査の評価点が同点の場合は、見積価格が低い提案者を上位とする。さらに、見積価格も同額の場合は当該応募者にくじを引かせて落札者を決定する。

ク プレゼンテーションの参加者及び関係者は、他の参加者のプレゼンテーションを傍聴することはできない。

ケ 辞退する場合は、速やかに辞退書（様式 8）を市に提出すること。

（3） 選定結果の通知

ア 選定委員会による選定終了後、当市公式サイトにて公表するとともに、2 次審査参加者全員に文書による通知を行う。

なお、本プロポーザルにおける事後公表の範囲は、次のとおりとする。

- ① 最終審査を行った企画提案者の名称（五十音順）
- ② 優先交渉権者の名称
- ③ 企画提案者の評価点（優先交渉権者及びその他の提案者（合計点の高い順に、A 者、B 者等とアルファベット表記する。なお、参加者が 2 者の場合は、次点者の評価点は公表しない。））

イ 選定結果についての異議申し立ては一切受け付けないものとする。

ウ 受託候補者に特定された者以外の者は、非特定理由について上記アの通知日の翌日から起算して 7 日以内（土・日曜日、祝日を除く）に書面（任意様式）により、市長に説明を求めることができる。なお、非特定理由については、当該応募者の非特定理由、及び評価項目ごとの評価点を文書により回答することとする。

（4） 契約

特定された受託候補者と、評価した広報紙デザイン提案書を基に協議を行ったうえで、契約に係る協議を行い、速やかに契約を締結する。

なお、契約に係る協議により、受託候補者と契約できない場合は、次点者と契約について協議するものとする。

（5） 契約保証金

契約締結前に、原則として契約金額の 100 分の 10 以上を契約保証金として納付すること。ただし、宍粟市契約規則第 30 条に該当する場合は、その全部又は一部の納付を免除することが出来る。

10 その他注意事項

（1） 関係書類の作成及び提出に係る一切の費用は、応募者の負担とする。また、提出された書類は、返却しない。

（2） 提出された書類は、このプロポーザルの審査以外には使用しない。

- (3) 提出された関係書類は、選定手続きに必要な範囲において複製することがある。
- (4) 提出期間以降における関係書類の差し替えや再提出は認めない。また、関係書類に記載した配置予定の担当者は、病気、死亡、退職等の場合を除き、変更することができない。
- (5) 参加申請後又は広報紙デザイン提案書の提出後に参加を辞退する場合は、速やかに辞退書（様式8）により、市に提出すること。
- (6) 業務受託者が、契約に違反したとき又は履行が不完全であったときは、契約期間中であっても契約を解除することがある。
- (7) 無効となるプロポーザル
ア 参加資格要件を満たしていない場合
イ 提出書類に虚偽の記載があった場合
ウ 実施要領等で示された提出期日、提出場所、提出方法、書類作成上の留意事項等の条件に適合しない書類の提出があった場合
エ プレゼンテーションを欠席した場合、又は指定した時間に遅れた場合
オ 選定結果に影響を与えるような不誠実な行為があった場合
カ 本プロポーザル業務の内容に関して、選定委員会の委員と接触があった場合
キ 同一提案者が2件以上の広報紙デザイン提案書を提出した場合
- (8) 失格となるプロポーザル
ア 提案内容の如何に関わらず、契約上限額を超えた見積の場合
イ 審査基準で設定する基準点を下回った場合
- (9) 個人情報保護
委託業務を行うにあたって個人情報を取り扱う場合には、その取扱いに十分留意し、漏えい、滅失及び毀損の防止その他個人情報の保護に努めること。
- (10) 守秘義務
受託者等（本件業務に直接、間接を問わず関わる全ての者）は、本業務に関し、関係書類作成のため市から入手した資料等及び業務上知り得た秘密を第三者に漏えいや開示をしてはならない。また、原則として、本業務の遂行以外の目的に使用してはならない。これらのことは、本業務終了後においても同様とする。ただし、書面により事前に相手方の同意を得た場合等については、この限りではない。
- (11) 提出された書類の著作権は、応募者に帰属する。ただし、市は本業務に関する報告、公表等のために必要な場合には、応募者の承諾を得ずに提出書類の内容を無償で利用できるものとする。

11 提出先、問合せ先

〒671-2593 兵庫県宍粟市山崎町中広瀬 133 番地 6 本庁舎 3 階
宍粟市総務部広報情報課広報係
電話：0790-63-3115
FAX：0790-63-3061
電子メール：kohokocho-kk@city.shiso.lg.jp